



長門市しごとセンター

地方での「人づくり」を探る

コロナ禍で「地方移住したい」というニュースをよくみかけます。

テレワークやオンライン勉強会等が加速しており、今後、地方での暮らしは、ビジネスにおいてもアドバンテージになると感じます。

長門市しごとセンターは、人々が前向きに仕事に向き合うきっかけとなるべく「人づくり」を行っています。すぐに結果が出にくい分野ですが、公民連携で運営されており、短期的視点と中長期的視点のバランスを大切にしています。

例えば、10月に開催する中小企業大学のサテライトゼミとして『近未来を見据えた営業活動のためのデータ分析』講座は、地域企業へのアンケートでの要望により実現しました。都会へ行かなくても、都会と同じ講師から同じ内容を、この地域で活動するほかの企業の人と切磋琢磨しながら学べます。

一方、前回もご紹介した『高校生と地域企業をつなぐ合同企業ガイダンス in 長門』は、ただ地方の企業で働くことを勧めるものではありません。地方の仕事、人の思いに触れ、自分にとって「働きがいのある仕事」を見つけてほしいと思い、事前マッチングを行っています。一人一人に推薦理由を伝え、1回に4～5社の話を聞いてもらいます。生徒からは「期待していなかったのに、面白い話が聞けた」「都市部が第一希望だったが、地元で働きたいと思った」などの素直な感想を聞くことができました。

今後とも、長門市の方々が前向きによりよい仕事ができるよう、尽力したいと思います。



合同企業ガイダンスの様子



長門おもちゃ美術館

キッズクルーズ船「弁天」 和田船長デビュー

7月から和田百花船長がデビュー。新調された船長ユニフォーム姿のさわやかな笑顔に出会うことができます。

8月に毎週開催するワークショップ（WS）をご紹介します。詳しくは <https://www.nagato-toymuseum.com/>

- 1 ぬりペタWS（1日・8日）～木の電車に好きな色を塗り、オリジナルデザインをつくろう
- 2 カタコロコースターWS（14日）～木の板を使ったゲームをつくろう
- 3 木のたまご作りWS（15日）～定番で人気があります
- 4 缶バッジ作りWS（21日・22日）～好きな色やデザインの缶バッジをつくろう
- 5 木で作るティッシュペーパーボックス（28日）～金づちやのこぎり、紙やすりを使います



長門おもちゃ美術館 ☎ 27-0337



生涯「健幸」で元気に暮らせるまちを目指して

地域包括支援センターは 高齢者の総合相談窓口です

地域包括支援センターでは、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員などがチームとなり、高齢者の相談に電話や家庭訪問などで対応しています。困った時は、お気軽にご相談ください。

■相談例

- ・足腰が悪くなり掃除や買い物ができず困っている
- ・物忘れがひどくなり認知症が心配
- ・介護認定を受けたがサービス利用について知りたい
- ・近所の人を最近見ないが大丈夫だろうか

■各地域包括支援センターの連絡先

- ・長門市地域包括支援センター
長門市役所高齢福祉課内
☎ 23-1244（深川・依山地区担当）
- ・長門市東地域包括支援センター
長門市地域医療連携支援センター内
☎ 27-0410（通・仙崎・三隅地区担当）
- ・長門市西地域包括支援センター
油谷保健福祉センター内
☎ 33-2020（日置・油谷地区担当）

困ったことは気軽に相談！



長門市地域包括支援センター ☎ 23-1244

有賀敬直さん・彩香さん

たかなお

あやか

ハートビートブリュワリー株式会社



大阪から移住した有賀さんご夫婦。7月17日、長門湯本温泉で、長門市初のクラフトビール（発泡酒）の醸造所「365+1（サンロクロク）ビール」を開業したお二人にインタビューしました。



▲さまざまな種類の味が楽しめる



▲元資料館を改装した店舗

敬直さん 私は長門湯本温泉の観光まちづくりに計画当初から関わっていて、ちょうど5年になります。元資料館であるこの建物をリノベーションして何かできたらと考えていた時期に、ちょうど家族とも新しいことにチャレンジしたいという気持ちになり、移住を決意しました。

彩香さん 私はここへ来る前は、空間や内装デザインの仕事をしていました。夫からいろいろな話を聞いていましたが、長門市を訪れたのは移住したときでした。子どもたちは田舎暮らしは初めてで、よく海辺を散歩したり川遊びしたりしています。

敬直さん 「365+1（サンロクロク）」という名前には、「長門市に住む人たちの毎日（365日）と、旅で長門を訪れる人たちの特別な（1日）、その

どちらにも特別なひとときを楽しんでいただきたい」という想いを込めています。

彩香さん 勢いで何杯も飲むというよりは、ゆっくり味わっていただくためのクラフトビール（発泡酒）を作っています。今は完成したものが3種類、仕込み中が1種類ですが、ゆくゆくはそのときの気分に合わせて選んでいただけるように6～8種類のビールを作りたいです。

敬直さん クラフトビールを味わう・楽しむという文化が、ここ長門市でも当たり前のことになってほしいと思っています。ベンチでひと息できるスペースもあるので、気軽にお越しください。

「365+1（サンロクロク）ビール」の飲食店は金曜・土曜の営業（15～21時）で、びんビールの小売りは平日（水曜以外）に行う予定とのことです。

長門市市民憲章

②ふるさとの知恵

そだてあう、豊かなまちをつくります

長門市広報 知っちょこ

No. 254 2021年（令和3年）8月号

発行 長門市役所
〒759-4192 山口県長門市東深川 1339-2
TEL 0837-22-2111（代）

編集 企画総務部企画政策課シティセールス推進班
TEL 0837-23-1117 FAX 0837-22-5358

ながとブルーエンジェルス年間総合2連覇、女子ラグビーブラジル代表の事前キャンプと、長門市ではラグビーの話題で盛り上がった1カ月となりました。▼7月23日から開催中の東京五輪。男子カヌーの足立和也選手、女子バレーボールの奥村麻依選手、そして女子ラグビーブラジル代表の躍動する姿を目の当たりにして、スポーツは我々に元気を与えてくれるということが、改めて実感することができました。▼新型コロナウイルスの影響により、多くの会場で無観客開催となりましたが、長門の地から精一杯の応援とパワーを選手たちに送りたいですね。

編集後記

